

(株)ツタワル木 新講演プログラム

成長はウチガワから

— ありがとうとごめんなさいの隠された効果 —



ルールを増やしても、 不祥事はなくなりません。

多くの組織がコンプライアンス強化のために規則を増やし、監視を強めています。

しかし、それだけでは問題はなくなりません。なぜなら、組織を動かしているのは「規則」ではなく、そこで働く人々の「文化」だからです。

文化が変われば、組織は変わります。

職場の空気に、こんな「停滞」を

感じていませんか？

- ✓ 「そんなつもりじゃなかった」で終わってしまう指導現場
- ✓ ミスやトラブルに対して、言い訳や他責が先に立つ
- ✓ 現場からの相談が上がってこない（バッドニュースが隠される）
- ✓ ハラスメント対策を講じているが、職場の空気が変わらない
- ✓ 従業員のエンゲージメントが上がらない

諸悪の根源は「悪意」ではなく「正当化」です。



人は誰も、自分にとっての「不快」を避けるために、無意識に自分を守ろうとします。

この心理構造を「正当化 (Seitouka)」と呼びます。

自分の非を認める痛みから逃げるために、脳が瞬時に「自分は悪くない」

「仕方がなかった」という理由を作り出すのです。

不快・ミスの発生

無意識の
「正当化」

(言い訳・他責)

行動の歪み

(隠蔽・攻撃・ハラスメント)

組織的損失

- 不適切な事務処理
- 重大なコンプライアンス違反
- 組織の信頼低下

小さな心の守りが、やがて大きな組織の腐敗につながります。

解決の鍵は、たった2つの言葉にあります。

複雑な心理構造を解きほぐすための、シンプルで強力なツールです。



ごめんなさい

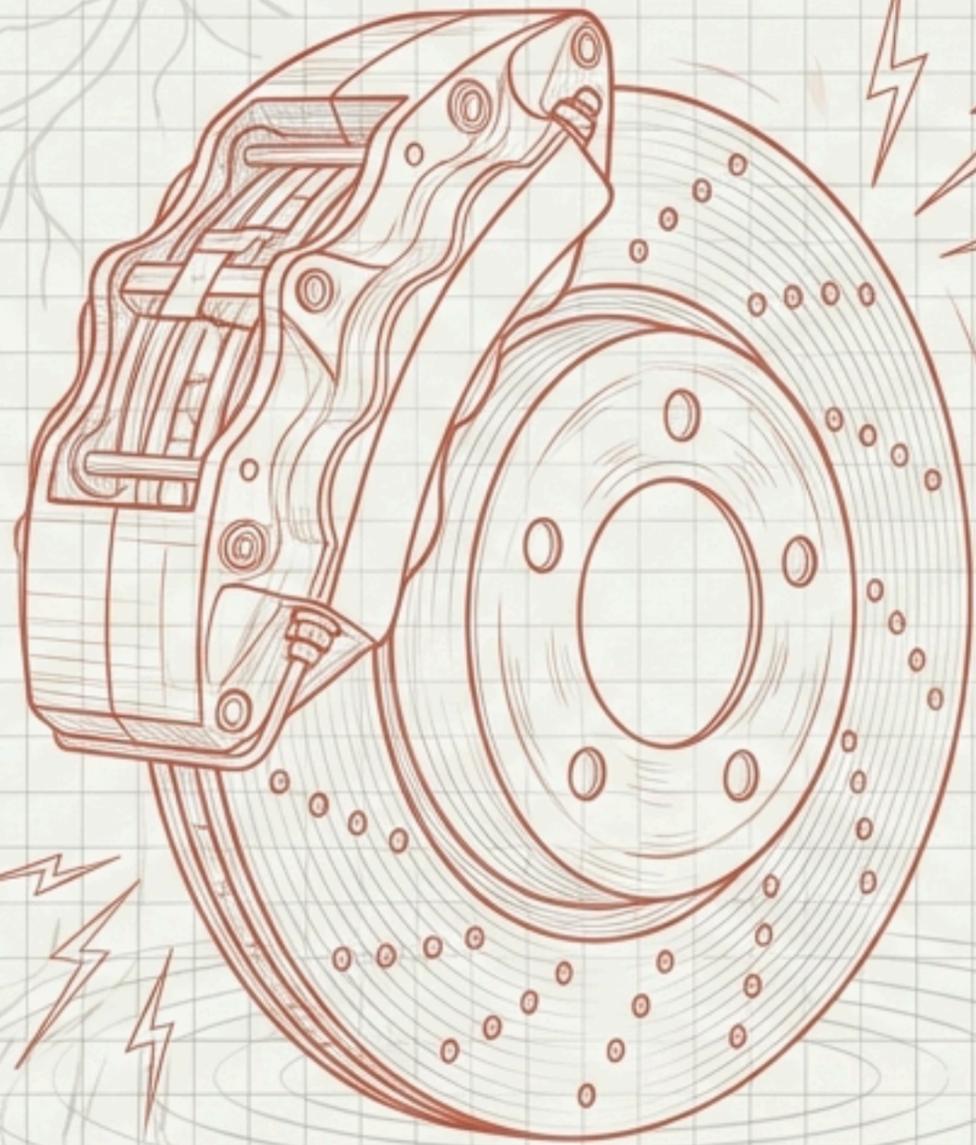


ありがとう

「ごめんなさい」は、 正当化を止めるブレーキ

「ごめんなさい」と言うことは、負けを認めることではありません。それは、脳内で自動的に作動しそうになる「正当化の暴走」を物理的に止める行為です。

言い訳が始まる前にブレーキをかけることで、事実を客観的に見つめ、修正する機会が生まれます。



An illustration on a grid background showing a golden liquid being poured from a container into a complex gear mechanism. The liquid splashes as it enters the gears, which are depicted with motion lines. The overall style is clean and technical.

「ありがとう」は、 心理的安全性を高める潤滑油

殺伐とした職場では、誰もブレーキ（謝罪）を踏めません。攻撃される恐怖があるからです。
「ありがとう」が飛び交う環境は、互いの存在を承認し、心理的安全性を高めます。

「ここでは失敗を認めても大丈夫だ」という安心感が、正直な報告と迅速な修正を可能にします。

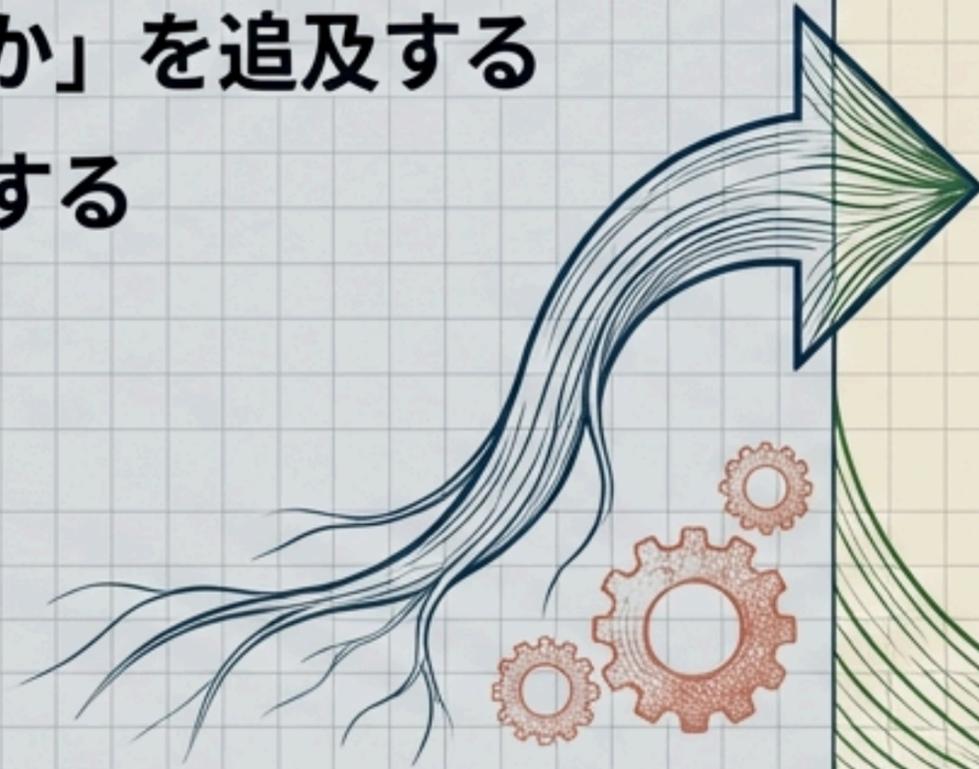
「正当化文化」から「修正文化」へ

正当化文化

- ミスを隠す・言い訳をする
- 「誰が悪い」を追及する
- 情報が滞留する
- 変化を拒む

修正文化

- ミスを認め、すぐに直す
- 「どう解決するか」を話し合う
- 悪い報告ほど早く上がる
- 成長と改善が続く



本講演導入によって期待できる効果



コンプライアンス違反の未然防止

小さな違和感の段階で修正がかかる組織へ。



ハラスメントの抑止

互いの尊重と承認がベースにある関係性の構築。



組織内コミュニケーション改善

風通しの良い、報告・連絡・相談が機能する職場へ。



エンゲージメント向上

心理的安全性の高い環境によるモチベーションアップ。

推奨対象・活用シーン



自治体職員研修

公正性が求められる現場の意識改革として



管理職研修

部下の心理的安全性を高めるマネジメント手法として



ハラスメント防止研修

ルール教育では響かない層へのアプローチとして



企業講演・組織風土改革セミナー

停滞した組織文化の刷新として

実施概要・プログラム構成案

60分 講演形式

意識変革のきっかけを作る、インサイト重視のセッション。

90分 ワーク付き

講演に加え、実践的な対話ワークを取り入れた標準プラン。

3時間 研修型

深い理解と行動定着を目指す、集中トレーニング。

講師メッセージ

「組織を変えるのは制度ではなく、内側の選択です。」

どんなに立派なルールを作っても、それを運用するのは人の心です。一人ひとりの「内側」にある正当化の壁を取り払い、素直に修正できる強さを育むこと。それが、強い組織を作る最短の道です。



株式会社ツタワル木
代表取締役 工藤邦彦

お問い合わせ・ご相談

貴社の課題に合わせたカスタマイズも可能です。お気軽にご相談ください。

株式会社ツタワル木

公式HP:<https://tsutawaruki.com/>